

# 令和4年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 西和佐小 学校
校長氏名	藪本 みゆき
作成日	令和 5年 1月 17日

## 1 教育目標

最後までよく考え、共によりよく生き、健やかな心と身体を養う子供の育成

## 2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査や県学習到達度調査で正當数の県平均値を目指す</li> <li>・児童がわかる授業、児童主体の授業を実践する(教員90%以上)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が「楽しい」と感じる(児童90%以上)</li> <li>・「ルールやマナーを守って授業を受けることができた」(児童80%以上)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日、朝ごはんを食べてくる(児童95%以上)</li> <li>・体力テストの平均値を県平均以上を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケート「子供の活動の様子をわかりやすく伝えていく(保護者90%以上)</li> <li>・地域への情報発信が行えた(保護者90%以上・地域の方等の声)</li> </ul>
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎基礎・基本の確かな学力</li> <li>◎児童主体の授業の推進</li> <li>○家庭学習の定着</li> <li>○読書活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎人権・同和教育を推進するとともに、人権意識の高揚に努める。</li> <li>◎道徳教育を柱とした教育活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎基本的な生活習慣の確立</li> <li>◎体力向上の推進</li> <li>○危機回避能力の育成</li> <li>○人間の体を知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎地域の教育資源や人材を活用しながら交流活動を行う</li> <li>◎幼・小接続の推進</li> <li>○ホームページを充実させ情報発信</li> </ul>
取組の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」の徹底を図る</li> <li>○「チャレンジタイム」の時間を活用し、基礎学力の定着を図る</li> <li>○国語力の強化、1年から6年までの目標を設定し書く力の積み重ねに取り組み</li> <li>○保護者の協力のもと家庭学習の定着を図る</li> <li>○必ず「朝読」の時間を確保し、読書を習慣づける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者と児童のよさを共有しながら児童を心豊かに育てる</li> <li>○「特別の教科 道徳」で児童が考え話し合う活動を大切に</li> <li>○いじめアンケートを複数回実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める</li> <li>○情報モラルやネット社会に潜む危険について、保護者と共に学ぶ機会をもつ</li> <li>○各行事において児童が主体的に関わる機会をもつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「早寝・早起き・朝ごはん」を推奨する</li> <li>○体育科での活動時間を多く取り入れるように工夫する</li> <li>○晴れの日は運動場で体を動かすように声をかける</li> <li>○避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する</li> <li>○「保健」の教科学習や保健行事を行うなかで、自分の体について知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童の少しでも良い様子を保護者に伝えていく</li> <li>○教育講演会等を開催し、保護者の子育てや教育に対する意識を高める</li> <li>○地域の自然や文化を積極的に活用する</li> <li>○地域の方々や関連した方々をゲストティーチャーとして依頼し、地域学習を推進する</li> <li>○幼小連携の充実を図る</li> <li>○各種便りやホームページなどを通して積極的に情報を発信する</li> </ul>
取組の成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6年生の全国学力調査では国語科は県・全国平均と同じであった。しかし、記述問題は内容的には概ね正解できていても、条件に合わせて正確に書く力が弱い。一定の文章量を読み切ることができない。意味を理解して書くことに課題が残る</li> <li>・算結果では県や全国平均よりも4ポイント高いという結果であった</li> <li>・しかし、情報量が多かったり、複数の資料を活用したりすることはあきらめてしまう傾向にある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平和集会が毎年あり、和歌山の空襲について学んでいる。今年度異動してきた職員も関わっていた。児童に各自の命を大切にすることを願っている</li> <li>・「人権総合」という名称をなくしたが、「総合的な学習の時間」や「特別の教科 道徳」の時間に人権についても学習している</li> <li>・スマートフォン利用は年々低年齢化している。少年センターに学年に応じた情報モラル教育を全学年で行っていた</li> <li>・課金をしてゲームを楽しむという事例が起った。キャッシュレスの時代になってきているため、その教育も少年センターにお願いで、6年生に行った運動会の司会を児童会が担当</li> <li>・2学期終業式の運営を児童会が担い、児童会からのお願いを動画で発信した</li> <li>・少しずつ、教職員よりも児童の出番が多くなることに教職員もチャレンジしようとなっていった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童は休憩時間には暑くても寒くても運動場で遊べる時は元気に外遊びをしている</li> <li>・運動場に少しでも乾いているところがあつたり、晴れていると運動場で遊びたがるくらいである</li> <li>・避難訓練を毎学期想定を変えて行った。児童は真剣な思いで取り組んでいた</li> <li>・避難訓練では最終的に運動場に避難して、安全確認や人数確認等をするが、建物が崩壊している場合、運動場からの逃げ場がないことに不安を感じている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度から学校だよりを地域の回覧で発信していることを続けさせていた</li> <li>・ホームページで学校、学級のことを発信している</li> <li>・3年生が「ふれあい交流会」で地域の方々や交流した</li> <li>・休日参観にて、幼小合同学年発表会を行ったが、コロナが収束したら、地域の方々にも参観していただきたい</li> <li>・「人権総合」から「総合的な学習の時間」に戻したことから、地域のことを考える時間ができた</li> <li>・幼小小教員の研修時間を一緒にもち(2月8日予定)、異業種間のコミュニケーションを図ることで小1プロブレム解消に役立てたい</li> </ul>
改善方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「児童がわかる授業」については教員82%であったが、「授業の内容がわかる」児童93%であった。教員が自信をもって授業をすることが大切である</li> <li>・新たな教育目標に向かって、教職員が同じ目標や思いを取り組んでいきたい</li> <li>・今年度は児童が苦手とする国語科の基本である「書くこと」にも力を入れてきたが、読解力をつけることも課題であるため、「読むこと」にも少しずつ力を入れ、読解力を増やしていきたい</li> <li>・家庭学習は保護者の協力が必要である。入学説明会や入学式で説明し、1年生から習慣づけができるようにしていきたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ルールやマナーを守って授業を受けることができた」と答えた児童は91%あり、意識付けを継続していきたい</li> <li>・スマートフォン等高価なものを持たせることの責任と、それを使用することによって起こる様々なトラブルについてもしっかり責任をもってもらえるように啓発していきたい</li> <li>・家庭でのことでも学校を頼ってきてくれるが、児童にとって保護者が一番であるため、家庭で価値のしつけや児童との話し合いをきちんとしていただけるように啓発していくと共に、学校としてできることを保護者と話し合いながら行っていきたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝ごはんについては10人前後が食べていない。啓発を続け、児童にも意識付けしていきたい</li> <li>・全面的な流れであるが、運動会は午前中開催にしている。体育科の教科としての授業が運動会練習のために圧迫していた。が余裕ができて、児童の負担が減り、児童も様々な運動に携われ生涯健康のための選択も増える。保護者には周知していきたい</li> <li>・昨年度は運動会の参加者小学生以上2人としたが、今年度は高校生以上2人で中学生以下人数制限は設けなかった。午後からないため場所取りも少なく、保護者は自身の時だけカラオケに移動した。マスクもきちんと着用していただいていたので、人数制限の必要はないと思われる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方に学校を自由に訪問していただき、ボランティアとして活動していただいたり、私たち教職員が知らないこと等、様々なことを教えていただいたりしたい</li> <li>・コロナが来年度2類相当から5類になるため、地域の方々も助けていただきたいことなどをどのように発信したらよいかなど、学校運営協議会委員さんのお知恵を拝借したい</li> <li>・コロナ禍のために学校も様々な制約を受けてきた。立場は違っても児童への思いは同じなのだが、「中止」や「延期」の決断を下すのは大変な心労であった</li> </ul>

## 3 その他の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の中でもできることをできるような形で行おうとしてきたが、3密を避けることを考えると中止せざるを得ず、保護者の皆さんとも地域の皆さんともなかなか交流する機会がもてず、残念で悔しい思いでいっぱいであり、来年度に期待したい。</li> <li>・「例年通り」から改革できる場所は変更しようとする新しいことにチャレンジすることになり、少ないが教職員の「しんどい」という声もある。児童たちにもチャレンジさせる限り、教職員も新しいことを取り入れたら、精査したりして通り組む必要性を感じているだけに残念な声である。しかし、日々進歩している世の中であり、教育にも「これでよし」はない。進歩するように促していきたい。</li> <li>・「学校運営協議会」を開くにあたって、いつも同じ様子を見ていただくよりもいろいろな取組を見ていただきたい。また、委員の方々全員の出席がかなうようにもしたい。皆さんの意向をお聞きして日程調整することを考えると優先順位が発生してしまいかねない。日程設定が難しい。</li> </ul>
---